

# 私の一文字「個」

副代表幹事  
峰岸 真澄

リクルートホールディングス  
取締役社長 兼 CEO



## 全ての事業は、個人の情熱から誕生

会員の方が思いを込めて選んだ一字に、書家の岡西佑奈さんが命を吹き込む「私の一文字」。今回は、峰岸真澄副代表幹事にご登場いただきました。

**峰岸** リクルートグループでは、「新しい価値の創造」「個の尊重」「社会への貢献」の三つの価値観を大切にしており、中でも「個の尊重」は、最もわれわれらしさを表す価値観です。英語では「BET ON PASSION」(個人の情熱に賭ける)と意識していますが、全ての事業は個人のアイデアから始まり、そのアイデアの前提となるのが情熱です。そういう思いから「私の一文字」を選びました。

**岡西** 漢字には神事に関するものが多く、「個」もその一つです。「古」は、祖先の頭蓋骨に祈る様子。くがまえは外との隔てを表し、一人ひとりを意味する漢字が生まれました。ところで、リクルートへの入社を志す人は、3年で起業を目指す人とか、個性的な方が多い印象があります。

**峰岸** 確かに私自身、中学のころから「青年実業家になる」と言い続け、「それにはまず、リクルートで一番を目指そう」という気持ちで入社しました。でも、そういう人は他企業にもいます。それよりも、独特な企業風土の中、「個」の情熱がつぶされずに育まれていく面が大きいと思います。

**岡西** 「個」を育むための具体的な取り組みを教えてください。

**峰岸** 新人研修を終えて職場に配属されたとき、隣の先輩に「これ、どうしたらいいんですか」と聞きますよね。その

ときから始まります。先輩は「あなたは、どうしたい?」と返します。自らのスタンスを明確にした上で相談することを若いときから叩き込むわけです。自分の考えだけで動く失敗もあります。でも経営陣以外のレイヤーにおいては、高が知れています。逆に、小さな舞台での失敗が大舞台で役に立つ。私自身、こうして目の前の仕事に夢中になるうちに、起業せずに30年が過ぎていました。

**岡西** 中古車情報誌の『カーセンサー』時代、峰岸さんはモーレッツ営業でならし、土・日曜にはディーラーで電話番号をしていたというエピソードもあります。

**峰岸** どの車に何件問い合わせがあり、何台売れたかが分かりますから。自分でデータを作るわけです。その後、結婚情報誌の創刊や、「紙」から「ネット」メディアへの転換に挑みましたが、いずれも本質は「個人と企業とのマッチング」を高めること。新ビジネスを生むのは、いつの時代も若い人たち。これからも彼らの情熱に賭け続けます。

**岡西** 最後になりましたが、経済同友会での今後の取り組みについてお聞かせください。

**峰岸** 昨年からは初等・中等教育に関し議論する教育改革委員会の委員長を務めています\*。彼らは10年後、15年後にビジネスの世界に入ってきます。オンライン化や個々の学習進度に合わせた教育など、方向性は見えていますが、なかなか前に進まないのが現状です。そのボトルネックは何かを考え、解決策を提言していきたいと思います。

書家  
岡西 佑奈

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。



\*関連記事12ページにあります。